

豊かな学びの環境づくり

令和2年度当初予算 (2月補正予算含む)

- 新** は今年度から開始する施策
- 拡** は前年度より内容の充実や人員の増員を図る施策
- ※全校実施とは限らず、一部の学校や抽出実施が含まれます。

総額 1,288億5,100万円

学力向上対策など様々な施策を実施するための事業費
192億1,900万円 (14.9%)

小・中学校や府立高校・特別支援学校の教職員等の人件費
1,096億3,200万円 (85.1%)

次代を生きる力の育成 7億6,050万円

すべての子どもたちが、他者と協働しながら自分の力で生き抜くことができ、「幸せな未来の創り手」として、新たな価値を創造できる教育を実現します。

拡 幼児教育の質の向上 (800万円)

・京都府内の公私立幼稚園・保育所・認定こども園の幼児教育の質の向上を図るため、各幼児教育施設を所管する教育庁・文化スポーツ部・健康福祉部の連携の下、京都府の幼児教育推進の拠点となる「京都府幼児教育センター」を教育委員会事務局内に設置します。



・幼児教育アドバイザーによる幼児教育施設への訪問・助言や保育者の専門性を一層高める研修の企画・実施、リーフレットの配付等による情報提供に加えて、小学校と幼児教育施設との協働による調査研究を実施することにより、幼児教育の質の向上を図るとともに、円滑な幼小接続を推進します。

新 小・中・高一貫した英語教育の実施 (100万円)

・学習指導要領の改訂に伴い長期化・高度化する英語教育について、小学校3年から高校3年までを見通した英語教育のカリキュラムを構築し、一貫した英語教育を実施します。

・小・中・高それぞれの発達段階に応じた課題を設定し、英語を使って自己表現できる力の育成を目指すことにより、言語活動を中心とした日々の授業改善を推進します。

● 府立学校スマートスクールの推進 (7億4,400万円)

- 新** 高速大容量の校内無線LAN環境を令和2年度中に全府立中学校・高校・特別支援学校に整備します。
- 新** 府立中学校及び府立特別支援学校小・中学部において、令和3年度までに1人1台の生徒用タブレットを配備します。
- 新** 民間企業やNPO、大学等が参画する「ICT利活用官民連携プラットフォーム」を構築し、ICTを利活用した教育を推進します。
- 新** ICT利活用を推進するためのリーダーを養成し、府立学校及び市町村立小・中学校教員のICT利活用力の向上を支援します。
- 拡** 令和4年度までに、全府立高校普通教室で電子黒板機能付プロジェクタと教員用タブレットを整備します。



教職員の働き方改革 6億6,718万円

外部人材の活用などにより、教職員が授業や授業準備などに集中できる環境を構築し、教職員が子どもに向き合う時間を確保します。

拡 小学校英語専科教員の配置拡充 (2億1,288万円)

・小学校において英語教育を実施するとともに、公開授業や研修を通じて英語教育を先導する教員の配置を拡充します。

● スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの配置・派遣 (1億4,860万円)

・相談体制や家庭への支援体制の充実を図ります。

● スクール・サポート・スタッフの配置 (2,850万円)

・教員の授業準備等を行う時間を確保し、教育活動を充実させるため、教員が抱える事務作業を補助するスタッフを配置します。

● 部活動指導員の配置、運動部活動外部指導者の派遣 (3,311万円)

・引率などの部活動顧問業務を担うことができる「部活動指導員」やコーチ等として技術的な指導ができる「運動部活動外部指導者」により、部活動指導体制を充実させ、部活動を担当する教員の支援と部活動の質的な向上を図ります。

すべての子どもたちの学びを支える教育環境づくり

「子育て環境日本一」の実現に向け、すべての子どもたちにきめ細かい教育を推進するとともに、良好な学習環境を確保し、一人一人の学びをしっかりと支える教育環境を実現します。

59億7,900万円

府立学校施設整備

- 拡** 学校施設長寿命化対策 (8億850万円)
 - ・府立学校の施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するための予防保全型改修を実施します。
- 新** 産業教育施設整備 (1億円)
 - ・府立高校の農業系学科の実習施設を更新します。
- 府立高校トイレ洋式化整備 (2億1,200万円)
 - ・令和4年度までに全府立高校のトイレの洋式化を完了し、学習環境や衛生環境を向上させます。

特別支援学校施設整備

- 向日が丘支援学校校舎等整備 (6,800万円)
 - ・「向日が丘支援学校改築基本構想」を踏まえた改築のための基本・実施設計を実施します。
- 井手地区新設特別支援学校整備 (33億1,300万円)
 - ・山城地域の生徒数増に対応するため、井手町に新設する特別支援学校の建設工事と備品整備を進めます。

いじめ防止・不登校支援

- 新** 学校問題対策チーム(スクールロイヤー等)の設置 (100万円)
 - ・法律や心理学等の専門家(弁護士、臨床心理士、学識経験者等)を中核としたチームを教育委員会事務局内に設置し、いじめ等の複雑・困難な事案への対応が必要な場合や、事故等の重大な事案が発生した場合、学校に対して専門的な助言などの支援を行います。
- 新** 別室登校児童支援の調査研究 (85万円)
 - ・小学校で別室登校をしている児童の状況に応じた学習面や体験活動等の支援を行い、その効果を検証するための調査研究を実施します。

文化財の保存と活用の推進 14億6,287万円

令和元年度に策定した「京都府文化財保存活用大綱」を踏まえ、「保存」と「活用」の両輪により、京都の貴重な文化財を後世に継承します。

- 新** 文化財の保存活用調査の実施 (780万円)
 - ・保存の促進や活用の検討のため、未指定文化財を含む府内文化財の調査等を実施します。
- 拡** 府指定・登録・暫定登録等文化財保存修理補助 (1億4,500万円)
 - ・府指定等文化財を良好な状態で後世に継承するため、所有者が実施する修理や維持管理の経費を助成します。
- 歴史的建造物等の保存伝承 (13億237万円)
 - ・社寺等所有者の委託により、国宝・重要文化財建造物の保存修理工事等を府教育委員会が実施します。
 - ・国史跡恭仁宮跡ほか府内の文化財を活用したツアー等を実施します。
- 文化財建造物の修理現場公開 (570万円)
 - ・国宝・重要文化財の修理現場を間近に見学できる公開事業を実施します。
 - ・高校生や大学生を対象とした現場公開や職人体験事業を実施します。



文化財建造物修理現場公開(清水寺)

文化スポーツ部・商工労働観光部とも連携し、文化財に親しむ機会を創出

- 拡** 文化財観光の推進 (商工労働観光部事業)
 - ・文化財修理現場や地域の祭り等をコンテンツとしたモデルツアーを実施します。
 - ・文化財観光コンテンツづくりに向けた旅行者や交通事業者等の参加による検討会議を開催します。
- 拡** 文化財を活用した取組の実施 (文化スポーツ部事業)
 - ・文化庁の「日本博」と連携し、天橋立周辺文化財を活用したデジタルアート展を開催します。
- 新** 日本博と連携した丹後郷土資料館における特別展 (200万円)
 - ・国宝「天橋立図(雪舟筆)」の里帰り展示をメインにした特別展等を実施します。